

剣道称号「教士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟
群馬県剣道連盟

1. 申込対象者

剣道錬士七段受有者で、七段受有後2年以上経過（令和4年11月30日以前に取得）した者。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の教士受審申請書に小論文を添え（いずれも自筆、パソコン不可）、顔写真貼付）を都道府県剣連に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（11月26日）とする。

3. 都道府県剣連の推薦

- (1) 申込者が提出した、教士受審申請書と小論文を受理する。
- (2) 都道府県剣連会長は、申込者が称号・段級位審査規則第10条第2項の付与基準に該当し、かつ、同実施要領の「教士を受審しようとする者の備えるべき要件」（①～③）を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。
- (3) 支部で候補者推薦書を作成して、群剣連に送付するため、受審を希望する者は、受審申請書と小論文（封印のまま）を群馬県剣道連盟前橋支部事務局まで送付すること。

送付先 〒370-3573 前橋市青梨子町1260-4 携帯 090-1048-2119

群馬県剣道連盟前橋支部事務局次長 堀越照夫

4. 申込締切 令和6年9月11日（水）

5. 審査の方法

課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

課題・書き方および提出方法

- (1) 剣道の課題 「剣道指導者としてのあり方」

※再受審者についても上記課題の小論文を提出すること。

- (2) 字数 800字以上1,200字以内
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）
- (4) 書き方 用紙1～3行目に表題と登録都道府県名・氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。
原稿用紙の右上をホチキスで止めること。
- (5) 提出方法 封筒長3を使用し、表に「剣道称号教士受審」、裏に登録都道府県名と氏名を表記し封印したものを支部を通じて群剣連へ提出すること。

6. 審査会期日 令和6年11月26日（火）

7. 審査料 30,000円（講習料含む）を支部を通じて振り込むこと。

群馬県剣道連盟前橋支部 群馬銀行総社支店 普通口座 0457615

8. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和7年1月号および全剣連ホームページ (<https://www.kendo.or/>) に合格者の氏名を掲載する。

9. 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は、全日本剣道連盟および地方代表団体（各都道府県剣道連盟）が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

申請番号

--

全剣連称号・段位様式第 4 号
令和 年 月 日

※都道府県剣道連盟で記入する。

※申請番号は若年順に記入する。

①. 剣 道

2. 居合道

3. 杖 道

※該当するもの○印をする。

教士 受審申請書(本人用)

※ 試験会場

--

※社会体育上級認定者(追認者除く)は
上記試験会場の記入は不要

(申請都道府県剣道連盟)

群馬県

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則[第11条第1項]に基づき、
剣道 教士を審査いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受 審 者 氏 名

(旧姓)

2 生 年 月 日

年	月	日生	年齢	満	歳
---	---	----	----	---	---

3 性 別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

称 号	錬 士	段 位	段
年 月		年 月	
登録県名		登録県名	

取 得 年 月

登 録 県 名

顔写真を貼って
から提出してく
ださい
(3cm×4cm)

5 全 剣 連 番 号

--

6 住 所

〒

7 電 話 番 号

	携帯番号	
--	------	--

8 職 業

現職		前職	
----	--	----	--

※出来るだけ具体的にお書きください(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定月

平成 年 月 認定

※上級認定者のみ記入

[剣歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する